

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス「プラムだいすき」

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、フリースペース、プレイルーム、学習室と認識してる。 利用児一人当たりの法定スペース以上に空間を確保している。 各部屋を区切っているので、特徴のある子どもたちへ対応できている。 公共の施設も定期的に利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 部屋数が多く、且つ、仕切られている。 別々の活動を同時に行うことができ、利用者のニーズに応えやすい。 関係性の良くない時の利用者へ別空間、別活動を提供できる。 広いスペースのプレイルームも欲しい。
	2	職員の配置数は適切である	6	1		<ul style="list-style-type: none"> 法定数以上に職員数を配置している。 子どもの送迎時に、手薄になる時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> より良いサービスを提供できるように、職員の支援力向上と配置数の増加を検討したい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 施設が車椅子対応には、なっていない。 玄関入口の階段が高い。 玄関及び屋内の階段に手すりはあるが、スロープになってない。 玄関の出入り、屋内の階段移動には利用者へ注意を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> 肢体不自由児を受け入れる時には、スロープや身障者用トイレの設置などの対応が必要である。 階段の段差が大きく、手すりに手の届かない小さな利用者もいる。 ユニバーサルデザインの事業所が欲しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			<ul style="list-style-type: none"> 毎日の職員打合せで改善について話し合いを持っている。 スタッフは積極的、主体的に参画している。 	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			<ul style="list-style-type: none"> 保護者からいただいた意見・内容を把握し、話し合い、改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、いただいた意見、並びに会議で出た意見を業務改善へ反映していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> 自己評価結果並びに保護者からいただいた意見を集約し、印刷して職員、保護者へ配布している。 事業所に掲示している。 ホームページで公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本財団の情報フィールド「CANPAN」に掲示して公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	4	<ul style="list-style-type: none"> 第三者委員会は立ち上げていない。 日本財団による第三者外部評価を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本財団による第三者外部評価は、今後も受ける予定である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で研修出張の機会が乏しい。 研修会参加を進めている。 オンライン研修を取り入れている。 研修後は、スタッフ全員で内容を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修の機会をさらに増やしていきたい。 研修を受けやすい職場環境作りもしていきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> 保護者、関係者からの聞き取りや資料の提供を受けるように努めている。 得た情報をスタッフ全員で共有して対応に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、情報の収集と全スタッフでの情報の理解、共有に努めたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 全利用者へ標準化されたアセスメントツールを利用したアセスメントは実施していない。 把握の困難な児童については利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から提供された個別支援計画や医療機関での検査資料、学校からの資料等を十分に活用していきたい。

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフミーティングで検討している。 ・スタッフ全員で参画するように取り組んでいる。 ・支援場面では個々のスタッフの判断に委ねる場面が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団的な活動と個別での活動計画について、もっと具体化、文言化をできるようにしていきたい。 	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・季節的な行事や誕生会なども取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの興味・関心が起きるような活動プログラムを考えていきたい。 ・子どもたちからの意見を取り入れた活動も提案できるようになると良い。 ・活動について、利用者へもっと提案できるようになるとよい。 ・コロナ禍で、社会見学等の体験的な行事が減った。早く再開できると良い。 	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・対応していない。 ・外部講師による教室を設けている。 ・公園や他の施設を複数利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに沿って、具体化、細案化した計画を提供できるようになるとよい。 ・日常のルールや社会生活上のルールを育んでいけるような活動も提案していけるとよい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングで確認している。 ・平日はできているが、長期休業中はできてない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを利用して情報を共有するようにした。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝行っている。 ・支援終了後は送迎に出ているスタッフがいたので、翌日に振り返りを行っている。 ・細かく共有してる。 ・急ぎの連絡等がある場合は、一斉メールの利用もできるようにしている。 	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、実施している。 	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	・コロナ禍のために、面談しての会議は減少した。電話での対応が増えた。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	・取り組んでいる。 ・保護者より早く、学級担任や教頭から連絡をもらえる学校、保護者に確認してほしいと言われる学校と、様々である。 ・毎朝の打合せで確認してる。	・関係機関との連携度を高めていきたい。 ・下校時刻は、まだ時々、行き違いがある。 ・事業所として今後とも確認が必要である。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	4	・受け入れてない。	・今後利用希望者が出れば課題。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	5		・利用していた全施設との情報交換は行えていない。 ・新一年生の保護者から、入学前に情報や資料をいただき、スタッフで共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	3	・まだ、該当者がいない。 ・移行支援計画は作成してない。	・該当者が出れば作成し、対応する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		・連携に努めている。 ・研修機会の提供も受けている。	・より積極的に取り組んでいきたい。 ・スタッフ全員がオンラインでの研修会に参加ができるような体制整備が必要である。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	4	・定期的、積極的に取り組んではいない。 ・特定の学童クラブを交流相手として指定することは難しい。 ・公園や公共の施設などで活動が一緒になることはある。	・実施する場合には、相互にWIN-WINな関係となるように、綿密な計画の上で実施したい。 ・事業所内のいろいろな特徴のある異年齢集団で、集団的な活動を大切にしたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	1	・コロナ禍で開催されてない。	・開催されれば、積極的に参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・送迎時の会話、連絡帳記載事項を大切にしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	1	・行っていない。 ・保護者から相談や問い合わせがあった場合には真摯に対応している。	・定期的、系統的にペアレントトレーニングなどの支援を行えるようにしていきたい。	
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				・状況にあった利用について保護者やスタッフと話し合い、利便性を高めた対応もしていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2		・事業所側から積極的に行ってはいない。 ・保護者から相談や問い合わせがあった場合には真摯に対応している。	・スタッフの対応力、支援力の向上に努めていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	6	・保護者会などは設置していない。	・全ての利用者の保護者が希望した場合には、設立へ向けて検討したい。

護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・体制は整っている。 ・まだ、苦情等の申し出はない。 ・苦情等あった場合には、真摯に対応する。 	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や予定については、日々の連絡帳、行事案内、保護者との対話、HPなどを利用して発信している。 	
	35	個人情報に十分注意している	7		<ul style="list-style-type: none"> ・キャビネット等施錠する。 	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことは短く、要点をはっきりと伝えるようにしてる。 ・傾聴に努めている。 	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所や利用者を温かく見守ってくれている地域住民が多い。 ・地域住民との計画的な交流の場は設けていない。 ・コロナ禍で行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは作成している。 ・職員へは周知してる。 ・利用者や保護者への周知が十分か疑問である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、保護者へ伝達することも検討したい。 	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・年2回実施してる。 		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作成してる。 ・スタッフへは周知している。 		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルはある。 ・生命や身体に危険が迫る場合には行うことを説明している。 ・身体拘束を想定する対象者がいないので、事前説明や計画への記載は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を見て対応していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望には対応してる。 ・食物アレルギーで医師の指示書のある利用者はいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、必要な利用者が生ずれば対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・対応マニュアル、ヒヤリハット報告書はある。 ・共有して実施しているが、不十分などところもある。 ・積極的な活用には至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、事例の収集に努める。